

世界を知ろう！ ～ネパール編～

学校所在府県：和歌山県
 学校名：和歌山県立紀北支援学校
 名前：嶋田 佳典
 実践教科：社会

指導時数：14時間
 （9～14時間は3学期実施予定）
 対象学年：中学部2年生 知的障害学級
 対象人数：課題別学習4グループ 6人

1. 教師海外研修を通して感じたこと

貧しい人達の犠牲の上に成り立つ「豊かさ」について考えることが研修の主眼の1つであった。途上国といわれる国の現状に触れることで、先進国の暮らしを見つめ直すきっかけにしたかったのだ。排気ガスやプラスチックゴミの山。洗剤が垂れ流しの聖なる川。農村部では昔ながらの生活の中にスマートフォンが当たり前のように存在する。先進国からの影響は大きい。「豊かさ」と「貧しさ」の基準は何だろうか。

カースト制の名残りからいまだに差別意識が根強い。障がい者にとっては、「家にかくされている」状況から改善されつつあるが、課題は多い。性や人種、宗教や障がいの有無。人は皆違う。違いを認め合える社会、自分らしくあれる社会とは何か。それはそのまま日本にも突き付けられる課題でもある。

ネパールの人々は素朴で恥ずかしがり屋だ。そしてあたたかい。効率や便利さを大切にしながらも、先進国に住む人々の価値観を変えていく必要性を感じた。自分の立ち位置やこれからどう生きていくべきかを考える大きなきっかけとなった。

2. カリキュラム

(1) 実践の目的・背景

本グループは生育歴や家庭環境などから二次障がいを抱え、生きにくさを感じている子どもたちが多く在籍している。ネパールの暮らしや文化を体験し理解を深めることで世界の広さ、多様性を認め合える社会について考える機会を得たい。実際に感じたことを生徒と共有し、「自分はどう考えるか」を生徒に伝えたい。途上国の暮らしや文化、同年代のネパールの子どもの様子などについて理解を深めることで、「世界の広さ」を感じられるのではないかと考える。自己肯定感の低さから友達や教師を許せず、仲良かかわることが難しい生徒が多い。「多様性」について学びを深めることで仲間を認め、よりよい集団、仲間作りの機会になると考え、本単元を設定した。

(2) 授業の構成

時限・テーマ・ねらい	方法・内容	使用教材
1、2時限目 ネパールを知る *ネパールに関する基礎知識を学び、興味をもつ。	<ul style="list-style-type: none"> ●ネパールって？ （場所、首都、国旗、人口、人種、お金、言葉、食べ物、有名な物） 写真や動画を見せながら説明する。 日本と比較し、違いを分かりやすく提示する。 ●ワークシートにまとめる 	<ul style="list-style-type: none"> ●写真 （パワーポイント） ●動画 ●世界地図 ●ワークシート
3、4時限目 ネパールの学校 *同年代のネパールの子どもの様子を知り、興味をもつ。	<ul style="list-style-type: none"> ●学校の様子 校舎、教室、先生、教科書、授業の様子など 日本と比較し、違いを分かりやすく提示する。 ●子どもたちの様子 動画を見せながら臨場感を大切に伝える。 ●これは何かな？ネパールの疑問 写真をもとに何を表わす写真か考える。 	<ul style="list-style-type: none"> ●写真 （パワーポイント） ●動画 ●ワークシート

5、6時限目 ネパールの食べ物 *ネパールの食べ物について知り、興味をもつ。	<ul style="list-style-type: none"> ●ダルバートの紹介 ネパールの人は手で食べることを知る。 ●ヒマラヤ岩塩の試食 ●ネパールのインスタントラーメンの試食 	<ul style="list-style-type: none"> ●写真 (パワーポイント) ●ヒマラヤ岩塩 ●インスタントラーメン ●ワークシート
7時限目 ネパールの衣服 *ネパールの衣服について知り、体験することで興味をもつ。	<ul style="list-style-type: none"> ●ネパールの民族衣装を紹介する。 (サリー、クルタスルワール、ダルワスルワール、トピ) ●現在のネパールの人々の服装 ●ネパールの帽子(トピ)を着用し、気付いたことを発表する。 	<ul style="list-style-type: none"> ●写真 (パワーポイント) ●トピ ●ワークシート
8時限目 ネパールの音楽 *ネパールの音楽に触れ、興味をもつ。	<ul style="list-style-type: none"> ●ネパールの楽器を紹介する。 (マダル、サーランギ) ●レッスンプリリリを実際に歌い、興味を持ちやすくする。 	<ul style="list-style-type: none"> ●写真 (パワーポイント) ●ギター、楽譜、歌詞 ●ワークシート
9時限目 ※未実施 ネパールの言葉 *ネパール語に興味をもち好きな言葉を感じる。	<ul style="list-style-type: none"> ●ネパール語の簡単な言葉を紹介する。 (あいさつ、自己紹介など) ●好きな言葉を1つ選び、使ってみる。 ●ワークシートにまとめる。 	<ul style="list-style-type: none"> ●写真 (パワーポイント) ●動画 ●ワークシート
10時限目 ※未実施 校外学習について *校外学習の行き先や内容、目的について知り、見通しと期待感をもつ。	<ul style="list-style-type: none"> ●ネパールレストランでダルバートを食べることを知る。 ●実際に手で食べている様子を動画で見る。 ●ネパールの人に聞きたいことを考える。 ●ワークシートにまとめる。 	<ul style="list-style-type: none"> ●写真 (パワーポイント) ●動画 ●ワークシート
11、12時限目 ※未実施 校外学習 *実際に手で食べることで新たなことを発見する。 *ネパールの人と実際に触れ合う。	<ul style="list-style-type: none"> ●ネパールレストランでダルバートを食べる。 ●実際に手で食べてみる。 ●ネパールの方に見本を見せてもらう。 ●ネパールの方と実際に交流する。質問する。 	<ul style="list-style-type: none"> ●前時のワークシート
13時限目 ※未実施 ネパールクイズ *多様性に触れ、見方や感じ方を広げる。	<ul style="list-style-type: none"> ●ネパールの象徴的な写真を提示し、何を表わす写真か考える。 ●その理由や背景を考える。 ●ワークシートにまとめる。 	<ul style="list-style-type: none"> ●写真 (パワーポイント) ●ワークシート
14時限目 ※未実施 自分はどうする？ *学習を振り返り感じたことまとめる。	<ul style="list-style-type: none"> ●今までの学習を思い出す ●感じたことをワークシートにまとめる ●自分の生活を考える 学校生活、友達関係 など 	<ul style="list-style-type: none"> ●写真 (パワーポイント) ●ワークシート

3. 授業の詳細

1、2時限目：ネパールを知る

ねらい…・ネパールに関する基礎知識を学び、興味をもつ。
 ・日本とネパールを比較し、その違いや共通点が見える。

◆内容◆

- ① クイズ「ここはどこかな？」
ネパールを象徴する写真を何枚か提示し、予想する。
- ② ネパールの位置を確認する。
白地図からネパールの位置を見つけ、色塗りする。



資料 1

③ 日本とネパールをくらべよう。

国旗、人口、首都、人種、ことば、お金、食べ物、有名な山について比較し、気付いたことを発表する。

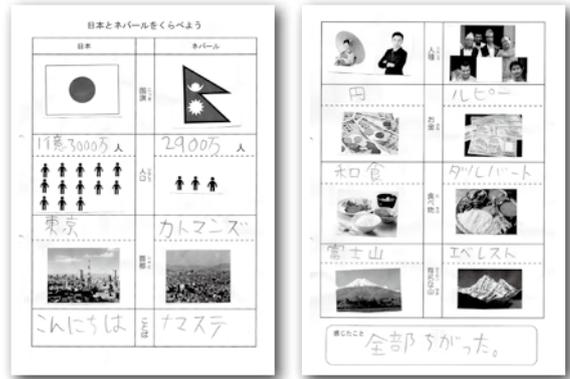
④ ネパールを通して学んでほしいこと

- ・ 違う文化を知る。
- ・ いろいろな考え方があることを知る。

→世界の広さを知ろう！

！ココがポイント

知識を増やすのではなく、外の世界に意識を向けるということ。授業のめあてを初回に確認することで、意識の共通理解を図る。生徒の様子によってその都度確認する。



資料2

⑤ 感じたことをまとめる

生徒の反応

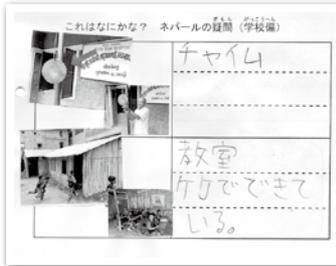
- ▶ 初回ということもあり、生徒たちは興味をもって取り組んでいた。「レンガの家が多い」「国旗が三角」など写真を見て気づいたことを次々に発表していた。

3、4時限目：ネパールの学校

ねらい… 同年代のネパールの子もたちの様子を知り、興味をもつ。
・ 日本とネパールの学校を比較し、その違いや共通点ができる。

◆内容◆

- ① クイズ 「ここはどこかな？」
写真（校舎、校庭、職員室 等）を何枚か提示し、予想する。
- ② 日本とネパールの学校をくらべよう。
校舎、教室、職員室、先生、中学生、教科書について比較し、気付いたことを発表する。
- ③ これは何かな？ネパールのぎもん
日本との違いが大きなことに関して写真を提示し、何を表わす写真か予想する。
チャイム、竹の校舎、朝の会の様子、トイレ、避難訓練
- ④ 感じたことをまとめる



資料3

生徒の感想

- ▶ トイレに水が置いてます。
- ▶ チャイムがおもしろい。
- ▶ ネパールの学校と日本の学校は全然ちがった。
- ▶ ネパールに生まれなくてよかった。日本でよかった。
- ▶ 朝の会（朝礼）がおもしろかった。

！ココがポイント

子ども達がイメージしやすい項目を取り上げ、視覚的に分かりやすく提示する。写真だけでなく動画も使って臨場感を大切に。

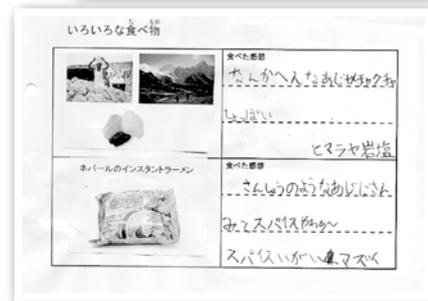
◆所感◆ 日本の学校と違うところをよく見つけ、発表していた。テーマが学校なのでイメージを持ちやすかったようである。「日本でよかった」といった生徒もいたので、今後、多様性を考える上で子ども達にどうせまっていくなか、検討が必要である。

5、6時限目：ネパールの食べ物

ねらい…・ネパールの食べ物について知り、興味をもつ。
・ネパールの簡単な食文化が分かる。

◆内容◆

- ① ネパールの家庭料理「ダルパート」について
ダルパートの写真を見て、気付いたことを発表する。
ダルは豆、パートはご飯であることや、手で食べることに
ついて知り、ワークシートにまとめる。
- ② ヒマラヤ岩塩について
現地から持ち帰った岩塩を見て、何か予想する。
岩塩の成り立ちを知る。
実際に削り、試食する。感想を書く。
- ③ ネパールのインスタントラーメンについて
ネパールにもインスタントラーメンがあることを知る。
実際に試食し、感想を書く。



資料4

生徒の感想

- ▶ ヒマラヤは昔、海だった。ヒマラヤ岩塩しょっぱい。
- ▶ なんかなんか変な味。めちゃくちゃしょっぱい。
- ▶ ラーメンからかった。さいしょのラーメンはおいしかったけど。
- ▶ 山椒のような味に酸味とスパイスやわ〜

◆所感◆ テーマが食べ物だったこともあり、子ども達も楽しみにしていた。手で食べることに
対して「きたない」「なんで？」等の感想が出ていた。
今後校外学習を計画していく上でいい事前学習に
なった。ヒマラヤ岩塩の成り立ちに気が驚いて
いる生徒もいた。積極的に調理し、「以外におい
しい」などの感想を言っていた。

7時限目：ネパールの衣服

ねらい…・ネパールの衣服について知り、体験することで
興味をもつ。

◆内容◆

- ① ネパール女性の衣服について
サリーの写真を見て気づいたことを発表する。
サリーの特徴を知る。
クルタスルワールの写真を見て気づいたことを発表する。
クルタスルワールの特徴を知る。サリーとの違いについて。
- ② ネパール男性の衣服について
ダルワスルワールの写真を見て気づいたことを発表する。
ダルワスルワールの特徴を知る。
- ③ トピについて
現地から持ち帰ったトピを見て何であるか予想する。
実際に試着する。感想をワークシートに書く。
- ④ 現在のネパールの人々の服装について



資料5

生徒の反応

- ▶ 意外にもダルワスルワールが「かっこいい」と評判だった。サリーが長い布でできていることが分かると驚いていた。トピをみんなで楽しそうに試着していた。欲しいという生徒もいた。

8時限目：ネパールの音楽

ねらい…・ネパールの民族楽器を知る。
・ネパールの代表的な音楽に触れ、興味をもつ。

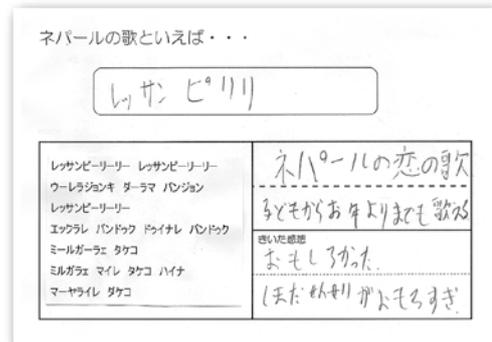
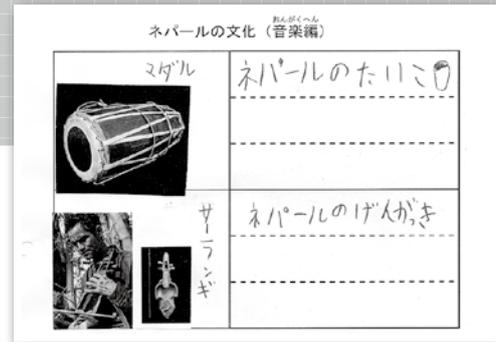
◆内容◆

- ① ネパールの民族楽器（マダル、サーランギ）を知る。
簡単な特徴が分かり、ワークシートにまとめる。
- ② ネパールの代表的な曲「レッサンピリリ」について
教師の演奏を聴き、感想を書く。
一緒に歌う。

！ココがポイント

教師が楽しくなくては生徒も楽しくない！
実際にレッサンピリリを歌うことで子どもたちの表情も
生き生きする。

- ③ ネパールの人が歌っている動画を見る



資料6

生徒の反応

- ▶ レッサンピリリの歌詞やリズムに興味をもち、一緒に歌う生徒もいた。歌詞に興味をもち、読みながら歌を聴いていた。授業後も楽しそうに口ずさんだり、「もう1回歌ってほしい」と頼んだりしていた。

◆所感◆ 教師が歌った後に、バスの中でネパール人が歌う動画を見せたことで雰囲気の違いを感じられたのではないかと。チップをもらうシーンを見て「今のなに？」と文化の違いに気付く生徒もいた。教師が体験したことをダイレクトに伝えることができたのでよかった。

生徒の感想

- ▶ おもしろかった。もっと歌ってほしい。
- ▶ 嶋田先生がおもしろすぎ。
- ▶ レッサンピリリの「ダケコ」の部分がおもしろかった。

9時限目：ネパールの言葉

ねらい…・ネパールの言葉に興味をもち、好きな言葉を覚える。

- ### ◆内容◆
- ① ネパールのあいさつ、自己紹介
 - ② いろいろなネパール語
 - ③ 好きな言葉を選ぶ
 - ④ 「レッサンピリリ」の日本語詞を確認する
 - ⑤ 感じたことをまとめる

10 時限目：校外学習について

ねらい… 校外学習の行き先や活動内容、目的が分かり、見通しと期待感をもつ。
・ネパールの簡単な食文化を思い出す。
・好きなネパール語を思い出し、喋ることができるようになる。

- ◆内容◆ ① 行き先、日時、場所、交通手段、目的、活動内容について
- ② ネパールの食文化について（振り返り）
- ③ ネパール語について（振り返り）
- ④ 話したいネパール語を覚える
- ⑤ 質問したいことを考える

11、12 時限目：校外学習 ～ダルバートを食べよう～

ねらい… ダルバートを実際に手で食べることで、新たなことを発見する。
・ネパールの人と実際に触れ合い、視野を広げる。

- ◆内容◆ ① ダルバートを食べよう ～手で食べることに挑戦～
- ② ネパールの人とかかわろう
- ③ 好きなネパール語を話してみよう
- ④ 質問タイム

13 時限目：ネパールクイズ

ねらい… 多様性に触れ、見方や感じ方を広げる。

- ◆内容◆ ① ネパールの象徴的な写真を提示し、何を表わす写真か考える
- ② その理由や背景を考える
- ③ ワークシートにまとめる

14 時限目：自分はどうする？

ねらい… 学習を振り返り、感じたことをまとめる。
・自分の生活と結びつけ、普段の行動を考える。

- ◆内容◆ ① 今までの振り返り
- ② 感じたことをワークシートにまとめる
- ③ 発表する
- ④ 自分の生活を考える（学校生活、友達関係など）

4. 成果

自信のなさから自分に向き合うことにしんどさを抱える子どもたちにとって、自分の知らない「外の世界」を知ることはとてもよい経験だった。発達や生活経験、考える力などに差がある学習集団ではあるが、各テーマで自分なりに考え、それぞれの気づきを引き出すことができたのではないかな。

また、教師自信が体験したことや感じたことをダイレクトに伝えることがいかに大切であるか、身をもって感じることができた。それは教科書にはのってない、大切な何かである。

今回研修に参加し、大切な仲間を得ることができた。答えの出ない問いに対して悩み、議論し、シェアを重ねた。この仲間でしか話せないことが確かにある。その距離感は友達でも同僚でもない、うまく言えないが「仲間」なんだと思う。このことが一番の成果なのかもしれない。

5. 課題

自分が研修で得たものから何をピックアップして伝えるか、迷った。あれもこれもとなってしまう単元が長引いてしまった。もう少し精選し、ねらいを絞って伝えたい。考える視点をいかに分かりやすく伝えられるかがポイントである。

また、諸課題について考えるきっかけになればと思う一方で、自閉症の子どもにとっては抽象的な問いかけになってしまい課題にせまりきれなかった。個別の目標設定や手立ての方法を検討する必要があった。「外の世界」を知るきっかけになった反面、「日本でよかった」「きたない」等の感想がよく出ていた。単元がすべて終わっていないので、今後子どもたちにどうせまっていくな、課題は残る。